



鳥取県立皆生養護学校（高等部）

公式ホームページ



所在地：〒683-0004 米子市上福原7丁目13番4号

TEL：0859-22-6571

FAX：0859-38-3485

E-mail：kaikeyo-s@pref.tottori.lg.jp

URL：https://www.torikyo.ed.jp/kaikeyo-s/

創設：昭和38年

学校案内図



生徒数

(令和8年5月1日現在)

区 分	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
単一障がい学級	0	1	0	0	0	1
重複障がい学級	0	2	1	2	1	1
訪問学級	0	0	0	1	0	0

令和9年度 設置学科

○普通科

利用交通機関

JR米子駅から新開行きのバスに乗車「総合療育センター前」で下車

自らの人生を切り拓く力・共に生きる力の育成

～皆生発信 みんなでつくる共生社会～

「自分の可能性をためしてみたい。」こんな皆さんを待っています！

本校は昭和38年4月1日に身体に障がいのある子どもたちが学ぶ、米子皆生学園として開校しました。昭和50年4月1日に現在の鳥取県立皆生養護学校へ改名し、平成26年度から高等部に病弱教育が設置されました。幼稚部、小学部、中学部、高等部の4学部を設置し一貫した教育に取り組んでいます。

「多様な人々とつながり、社会に参画し生活をしようとする子」「多様な人々に自分の思いを自分から自分らしく伝えられる子」「自分から自分らしく学び続けようとする子」「やってみたその先に見つかる夢に向かって進み続ける子」を育成します。

在校生の声

☆個人に合った学習方法で学ぶことができるため、学びをスムーズに進めることができ、理解につながっています。行事等では、他クラスや他学部と関わる機会があり、多様な価値観に触れながら温かい人とのつながりを広げることができています。(在校生)

☆将来の生活について集中して学習する時間があり、卒業後の生き方について深く考えるよい機会となっています。現場実習では、いろいろな企業や事業所で、働いたり活動したりする体験をとおして、大きく成長できたと思います。(在校生)

「できる・したい」を未来につなげる力 社会参画をめざす力を育てる学部

- ▶ 病弱・肢体不自由の生徒が、障がいや支援の違いに関係なく同じ教室でともに学び、学校行事や校外学習をともに体験し、高めあいながら学習しています。
- ▶ 能力や可能性を最大限に伸ばし、自分たちを取り巻く社会に積極的に関わる力を育て、一人一人の自己実現や社会参画を追求します。

障がいに応じた教育課程、将来の進路希望に合わせたコースを設けています。

＊単一障がい学級：A 総合コース B 基礎コース

＊重複障がい学級：Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型、訪問

特色ある教育活動

進路の希望に合わせて、授業選択を行います。「深化・挑戦・探求」「K スタディ」という皆生養護学校にしかない科目もあり、個々のニーズに応じて、自分が学びたいことや学ぶべきことを決め、スキルや知識を深めていきます。

また、社会とつながり社会に参画する学習の一環として、ボッチャやe スポーツ等を通して、高等学校や特別支援学校、公民館との交流及び共同学習に取り組んでいます。



高等学校との
交流及び共同学習

産業現場等における実習



現場実習

「チューニング・ウィーク」という期間を設け、将来について考える学習をしています。1年生は『自分を知る』『探る、経験の拡充』、2年生は『絞る、見極める』『方向性を出す』、3年生は『つなぐ・つながる』をテーマに、卒業後の進路を見据え、卒業後の「暮らすこと」「働くこと」を意識した取り組みを行います。

この期間に企業や事業所等で、前期（7月）・後期（11月）ともに10日間ずつ現場実習を実施しています。

いろいろな行事

皆生スポレク祭、皆生・ブライツ・フェスティバルなどの全校行事、他校の高校生との交流及び共同学習、新入生歓迎会、卒業生を送る会、修学旅行などさまざまな活動があります。

児童生徒会活動では、定期的に会を開き、あいさつ運動、各行事の企画・運営に取り組んでいます。



皆生スポレク祭

進路状況（過去3年間の卒業生）

進学	職業訓練	施設入所	就労移行 支援	就労継続 支援	生活介護、 自立訓練等	就職	在宅	その他
1名	0名	5名	0名	3名	6名	1名	1名	1名

体験入学・相談のご案内

学校説明会、学校見学、教育相談、体験入学などを通して、学校の様子や教育内容等を知ってもらいます。いつでも相談・見学が可能ですので、電話などでお問い合わせください。